

漁海況情報第10報 (2020年1月24日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

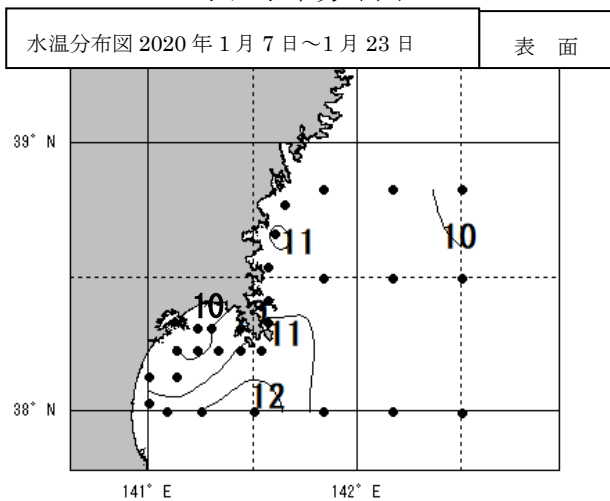
表面水温は平年並から1℃高め、水深100mでは38° 30' Nの142° 10' E付近に局所的な冷水がある一方で、仙台湾口付近に暖水が波及しています。

宮城県沿岸の表面水温は9～12℃台、100m深水温は7～11℃台となっています。表層水温は仙台湾中央部で1℃高め、沿岸部ではおおむね平年並みです。水深100mでは142° 10' E付近で1℃低めとなっています。[P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図]。鉛直断面図からは、38° 30' Nラインの142° 10' E付近に冷水があること、また38° Nラインの141° 30' E以西には暖水が波及していることが見てとれます。[P2. 水温鉛直断面図]。

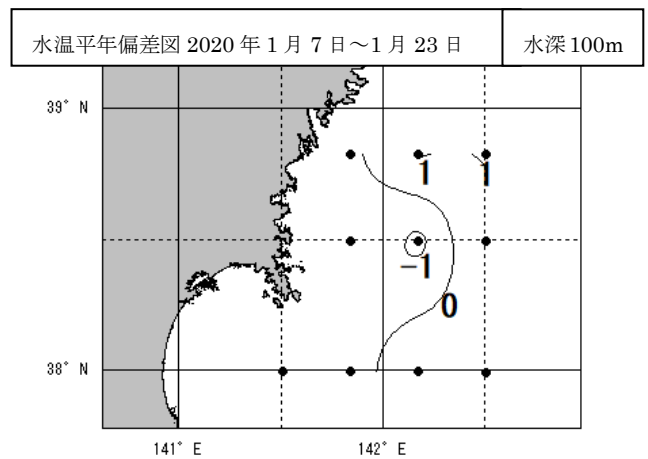
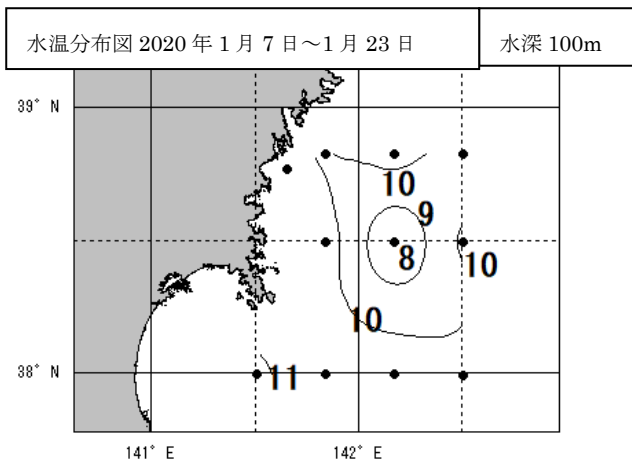
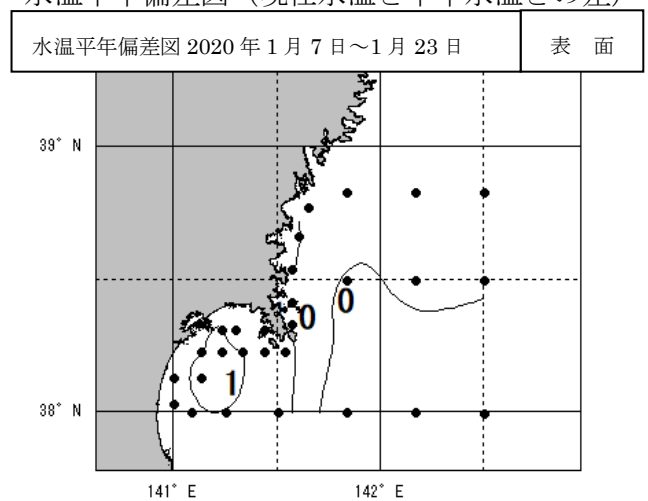
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第一分枝・第二分枝は青森～岩手の沖合で停滞し、北上暖水が勢力を強め三沢沖東200海里周辺で暖水塊を形成しています。また津軽暖流は三沢付近まで南下しています。[P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

1月中旬の定地水温は6～10℃台で、桂島で高め、歌津・江島・田代島・佐須浜でやや高め、気仙沼と亘理では平年並です。[P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は9～11℃台です [P3. 海底直上水温図]。

・水温水平分布図

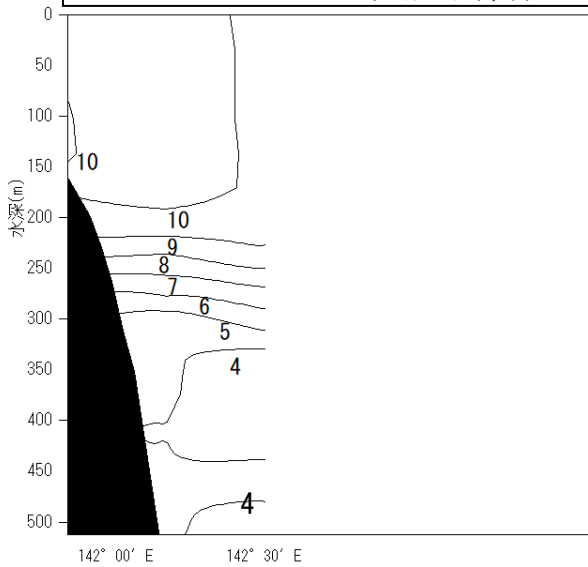


・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

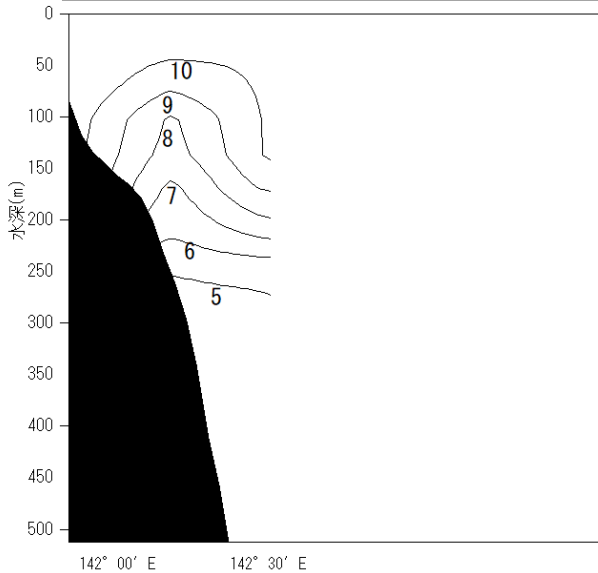


・水温鉛直断面図

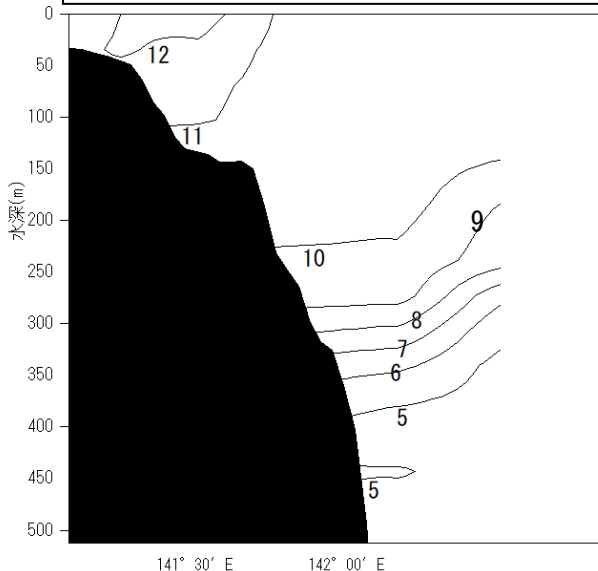
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

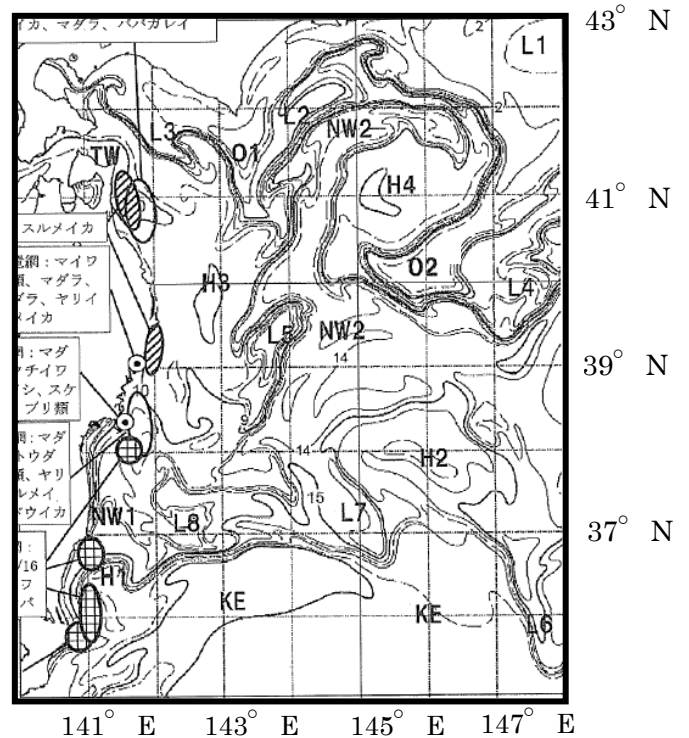


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2020年1月20日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

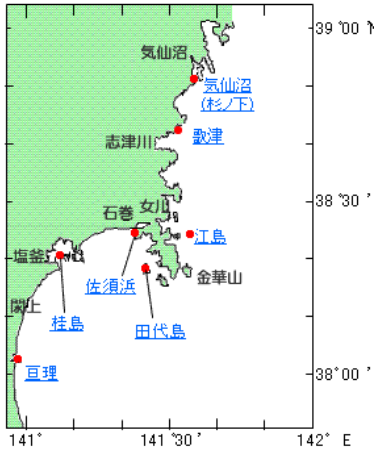
【海況】 (1月20日表面水温)

- ・親潮第一分枝・第二分枝は青森～岩手の沖合で停滞。
- ・沖合の北上暖水は勢力を強め岩手～青森沖を北上し三沢沖東 200 海里周辺で暖水塊を形成。
- ・津軽暖流が三沢付近まで南下。
- ・9°C台の混合水が下北～金華山沿岸に分布。
- ・黒潮続流は小名浜沖まで北上した後、南下し南へ流去。
- ・沿岸の北上暖水は房総～仙台湾沿岸に分布。

【漁況】 (1月16日～20日)

- ・まき網: 1 そう巻網は犬吠埼～仙台湾沖で1夜操業、マイワシ 9,689t とサバ類 796t を漁獲。2 そう巻網は犬吠埼沖でイナダ 163t を漁獲。
- ・定置網: 大船渡はマイワシとマサバ、石巻はマダラ主体に水揚。マダラは三陸沖～仙台湾で最盛期。
- ・スルメイカ: 釣は八戸と大船渡が平均 51 箱/隻・日 を水揚。石巻の底曳網はヤリイカを計 66t 水揚。
- ・大船渡の棒受網は 12 隻がマイワシの操業を継続し、平均 15t/隻・日 を漁獲しました。

・定地海洋観測



	1月中旬		平年差	前年差
	観測値	傾向		
気仙沼(杉ノ下)	9.4	平年並み	0.4	-0.8
歌津	10.5	やや高め	1.0	-0.9
江島	10.9	やや高め	0.7	-1.2
田代島	9.3	やや高め	0.8	0.6
佐須浜	8.9	やや高め	1.4	1.2
桂島	6.4	高め	2.0	2.1
巨理	8.2	平年並み	0.1	-0.1

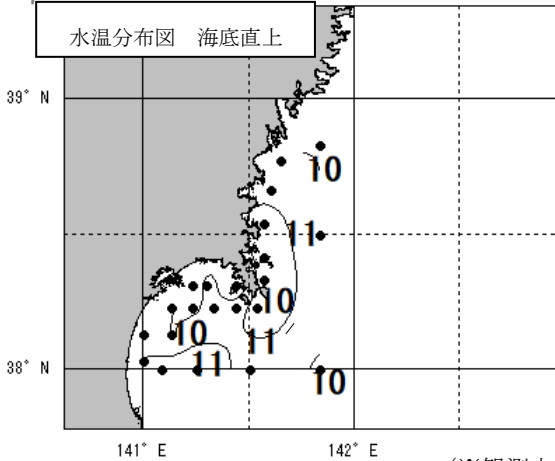
※平年値＝過去30年
 ※佐須浜(過去10年)
 ※歌津(平成28年12月から観測再開)
 ※桂島(平成24年3月から観測開始)
 ※巨理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は、

<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

7・海底直上水温(2020年1月7日～1月23日)

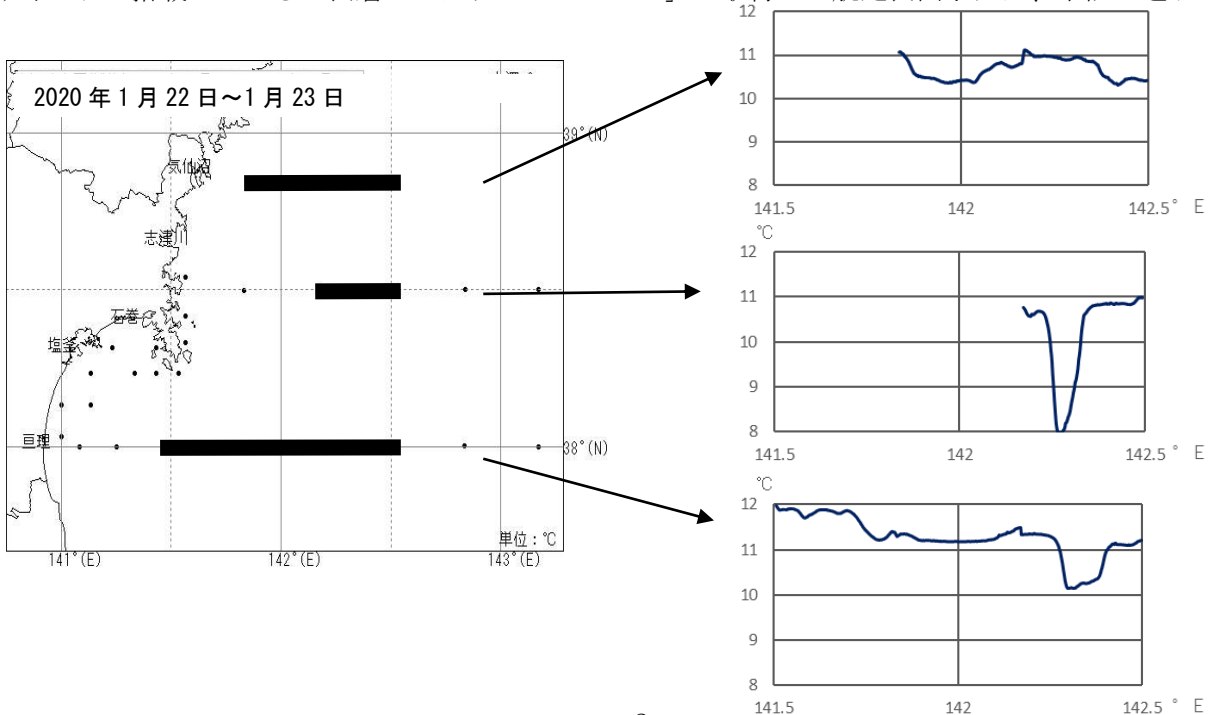


※2019年1月の海洋観測は欠測のため、前年との比較はありません。

(※観測水深は500mまでです)

2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」による流向流速情報は、機器不調のため欠測となりました。

4. 漁況

12月の水揚量は前年と比較して、カタクチイワシ、サワラ、ババガレイなどが増加しています。ヤリイカ、マイワシ、シロサケなどは減少しています。

(単位：トン)

2019年12月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比	
ピンナガ									292	0	2	294	131%	
メバチ									346	0	1	348	145%	
クロマグロ						2				3	2	8	142%	
サバ類	4389	7	13835			17	6				10	18265	107%	
マアジ	2	2	0			20	0				1	24	64%	
サンマ				1486		0					0	1487	130%	
ブリ	4	2	110			101	3				5	225	50%	
ヒラメ	6	17	0			4	17				4	49	111%	
マコガレイ	0	12	0			0	4				3	20	58%	
マガレイ		3	0			0	0				0	3	101%	
ババガレイ	16	0	0			0	0				6	23	219%	
スルメイカ	269	3	0			1	0	6			0	279	115%	
ヤリイカ	164	19	0			11	0	0			1	196	45%	
マイワシ	0	0	281			472						3	757	38%
カタクチイワシ						80						4	84	282%
ガザミ		1				0	5					3	9	102%
マダラ	55	0	0				1		2			9	67	108%
スケトウダラ	14	0	0			0	1		0			2	18	104%
サワラ	5	0				8	25		0			1	38	234%
シロサケ	0						9	0				1	10	26%

※0は1トン未満を示しています。

5. 調査船運航計画

みやしお	
2/3~4	沿岸定線調査
2/6~7	イカナゴ仔稚魚調査
開洋	
2/3~5	浅海定線調査
2/6~7	イカナゴ仔稚魚調査